

「心を与える」

まず与えることから始めよう。富のあるものは富を、才のあるものは才を、時間のあるものは時間を。しかしなんといいても、人が与える最高のものは、心である。他者のために「思い」と「行動」に費やした時間、人と共にどれだけの時間を分け合ったかによって、真の人間としての証がなされる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

12月に入り、子どもたちの可愛い歌声や美しい讃美歌が聞こえてきます。毎日のお祈りや絵本を見ながらクリスマスを楽しみにしています。2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、人に会ったり、大勢で集まったり、食事をしたりといった今まで当たりまえだったことがとても大切であり、喜びであったと気付かされました。不安や悲しいことがあった時、誰かに聞いてもらえるだけで心が軽くなったり、嬉しいことや感動した事を話すことで共に幸せな気持ちになれます。それは損得で成り立つ関係ではなく相手のことを考え、認め合い、分かち合えるからだと思います。愛情を持ち、心を与えられる幸せを感じることで、子どもたちも大切さや喜びを、日々の暮らしの中で学んでいきます。そして、その喜びを知る人生を送ることができるよう、まずは豊かな自然や目の前にある小さな出来事に目を向け、発見や感動を幸せであると感じられる心の豊かさを育てていきたいと思っています。

今月は、3園合同のクリスマス祝賀会が開催されます。子どもたちの成長の喜びを保護者の皆さまと共に感じ合えたらと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

12月聖句

おめでとう、恵まれた方。

ルカによる福音書 1章28節

12月主題

「うれしい」0歳

- ・保育者と共に、イエスさまのお誕生の時であるクリスマスを楽しみ待つ。
- ・クリスマスの絵本やさんびかを楽しむ。

1・2歳

- ・イエスさまのお誕生の時であるクリスマスを楽しみに待ち、祝う。
- ・クリスマスの雰囲気を楽しみ、絵本やさんびかに親しむ。
- ・遊びや生活の中で、思いを共有する経験をする。

～子どもたちの姿～

冷たい空気の中に降り注ぐ太陽の光が、心と体をポカポカと温めてくれるようです。先月行われた収穫感謝祭では、豊かな実りを喜び神様からの恵みに感謝しお祈りをしました。家庭より持参頂いた野菜や果物を目にした子どもたちは興味津々で「大根大きいね」「林檎があるよ」と、触れたり匂いを嗅いだり五感で感じています。野菜クイズでは名前を当てたり、色を答えたりと楽しむ姿が見られました。食べ物に興味関心を持つことが出来たようで、給食では、「きのこだね」「触ったね」と会話を楽しみながら、苦手なものもよく食べていました。子どもたちが意欲を持って食に関わる体験を積み重ねながら食材や作ってくれた人、神さまに感謝することを伝えていきたいと思っています。

【12月の讃美歌】

あら野のはてに  
まきびとひつじを

【12月のうた】

ジングルベル  
あわてんぼうのサンタクロース  
山の音楽家

|         | 月  | 火              | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |    |
|---------|----|----------------|----|----|----|----|----|----|
| 12月の予定表 |    |                | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |    |
|         | 6  | 身体測定           | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
|         | 13 | 14<br>クリスマス祝賀会 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |    |
|         | 20 | 21             | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |    |
|         | 27 | 28<br>クレイシュ通信  | 29 | 30 | 31 |    |    |    |
|         |    |                |    |    |    |    |    |    |

©12月14日(火)はクリスマス祝賀会になります。詳細は後日お知らせを配布いたします。感染症予防対策を行った上での開催となりますので、ご協力をお願いします。